

「東日本大震災・原子力災害伝承館」展示の充実について

1 展示の充実の考え方

これまで開催してきた資料選定検討委員会の意見や開館後の状況を踏まえ、伝承館の展示内容の充実を図ります。

2 展示の充実の内容

(1) 実物資料や展示解説の追加（別紙1-①）

◆ 実物資料の追加 約30点

◆ 展示解説の追加 13点

（津波への備え、SPEEDI、入院患者の避難、震災関連死、自主避難 等）

【内容】

- 地震・津波の被害の大きさや衝撃等を伝える展示（別紙1-②）
 - ・ 実物資料、画像追加及び被害映像の修正等
- 福島第一原発事故に関する展示
 - ・ 津波への備えが不十分であったことに関する解説追加
 - ・ SPEEDI が避難に活用できなかったこと及びSPEEDI の予測計算結果の取扱いに関する解説追加
 - ・ 入院患者の過酷な避難状況に関する解説追加
- 県民が感じている苦労、困難の実態を伝える展示（別紙1-③）
 - ・ 家畜の安楽死に関する解説等追加
 - ・ 自主避難者の苦しみ及び避難せず留まった住民の不安に関する解説追加
 - ・ 出荷制限に関する実物資料及び解説追加
 - ・ 避難生活に伴う諸問題（震災関連死、いじめ等）に関する実物資料及び解説追加 など

(2) 大型実物資料の展示

- 原子力広報塔（4種の標語）
- 津波被災消防車

(3) その他

- 実物資料へのわかりやすいタイトルの追加
- タブレットやリーフレットによる多言語対応の充実

【参考】伝承館の主な展示構成（充実後）

- | | | | |
|---------------|-------|--------------|-------|
| ・ プロローグ映像 | 1種 | | |
| ・ 実物資料（館内） | 約200点 | ・ 大型実物資料（屋外） | 2種 |
| ・ 展示解説（壁面解説等） | 57種 | ・ 写真 | 約250点 |
| ・ 映像解説 | 16種 | ・ タッチパネル | 7種 |
| ・ 証言映像 | 36名 | ・ 原発模型 | 1基 など |